感染症等の対策に関する留意事項について

大分県中学校体育連盟　柔道専門部

１　全競技共通事項

　（１）生徒の参加については、参加確認書を提出すること。

　（２）生徒に発熱など風邪症状が見られる時は参加を見合わせ、自宅で休養させること。

　（３）試合会場に入る生徒（競技中以外）・競技役員・補助員・引率者・観客等は必ずマスクを着用すること。ただし、熱中症予防の観点で、屋外で人と十分な距離（２ｍ以上）を確保できる場合はマスクを外すこと。また、屋内でも息苦しさを感じた場合は、換気や人と十分な距離を保つなどの配慮をした上でマスクを外すこと。

（４）会場の各所に液体石鹸や手指消毒用液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。

（５）同チーム内での飲料水等の回し飲みやタオルやコップ等の共有はしないこと。

（６）競技に使用する共有の用具（ボール等）については、競技専門部で消毒を行うが、チーム内の用具は各指導者が責任をもって消毒すること。

（７）競技会場内では、競技専門部（係員）の指示や誘導に従うこと。

（８）競技会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部及び県中体連事務局に速やかに報告すること。

２　柔道競技における３密（密閉、密接、密集）の回避対策

　【大会本部】

　　　・観戦は、選手1名に対して保護者1名のみ入場できる。（事前に保護者の名簿提出）

但し感染者の状況、会場の観客収容定員、可能な収容率により制限がかかる場合がある。

・会場の各所に手指消毒液を備えているので、こまめな手洗いや消毒をすること。

　　　・選手及び引率者は受付で「学校同行者体調記録表」等の必要書類を提出し、選手・引率者はＩＤカードを受け取って入場すること。ＩＤカードは、競技終了後に本部にて返却すること。

・観戦可と判断した場合、保護者は｢来場者体調記録表｣を引率者に渡し、受付後リストバンド受け取り、着用して入場すること。　⇒入口でチェックあり。

　　　・本大会に関わる全ての者（競技役員・引率者・選手）は、本大会の２週間前からの行動を事前に配布した「行動履歴書」に記録すること。

　　　・ごみは、各自の責任のもと、全て持ち帰ること。

　　　・個人戦のみ出場の選手は10月16日（日）の団体戦の日は入場できない。

【選手・役員・保護者等】

　　＜密閉＞

　　　・選手の更衣については、密集を避けるために更衣室は使用しない。

　　　　男子、女子ともには指定された場所・別室を使用する。

　　　・会場のドア・窓は常に開けておき、換気に努める。

　　＜密接＞

　　　・競技場内や競技中は、密閉・密集・飛沫リスク防止のため、近距離での会話や大声での発声を避ける。

　　　　隣との間隔を２ｍあける。

　　　・試合前後は、必ずマスクを着用し観客席で待機すること。

　　＜密集＞

　　　・選手待機場所は、各選手の間隔を約２ｍとって座る。状況に応じて、放送により注意・指導を行う。

　　　・観客席は、事前の抽選で郡市ごと（学校ごと）に指定された座席（間引きされている）になっている。

　　　　応援の保護者は、必ずリストバンドを提示し入り口でチェックを受けること。

※選手・役員・審判・保護者は、必ず上記のことを理解した上で参加してください。